

名家連ニュース

令和5年2月20日(月)
発行：特定非営利活動法人
名古屋市精神障害者家族会連合会
会長 堀田 明
TEL/FAX(052)846-5576 NO.912号

—2022年12月、2023年2月に氏家憲章氏（日本医療労働組合連合会精神病院部会部会長・社会福祉法人うるおいの里理事長）から寄せられた精神科医療の最新の調査資料の概要をご紹介しますので参考にして下さい。—

◆ 精神疾患の受診者数 614 万人(国民の20人に1人) ◆

2020年の「患者調査」によると医療機関の受診者数は614万人です。これは国民の“20人に一人”です。精神疾患は国民病といわれる糖尿病・ガン・心疾患（心臓病など）・脳血管疾患（脳梗塞など）を百万人単位で上回る医療機関受診者数第一位です。

≪ 医療機関の受診者数の推移 ≫ 出典：厚生労働省「患者調査」

| | 1位 | 2位 | 3位 | 4位 | 5位 |
|-------|---------------|--------------|--------------|--------------|----------------|
| 2020年 | 精神疾患 614万人 | 糖尿病 579万人 | ガン 365万人 | 心疾患 305万人 | 脳血管疾患 174万人 |
| 2017年 | 精神疾患 419万人 | 糖尿病 328万人 | ガン 178万人 | 心疾患 173万人 | 脳血管疾患 111万人 |
| 2014年 | 精神疾患 392万人 | 糖尿病 243万人 | 心疾患 161万人 | ガン 152万人 | 脳血管疾患 123万人 |

(注) 2020年統計は2017年の統計を厚労省統計担当に示し同じ基準で統計担当者が作成した数字。2020年に急増した背景は推定患者数の計算式の変更(担当者説明)による。

≪ 精神医療の実態は“外来医療”の時代 ≫

精神疾患614万人の内訳をみると、入院は28万人で全体の5%です。外来は586万人で95%です。わが国の精神医療は外来医療主流の時代です。入院患者は着実に減少、外来患者は急増中です。72年間継続している入院中心の医療体制の“崩壊の危機”は顕著です。

< 精神疾患の入院と外来の内訳 >

| | 総数 | 人口比率 | 入院 | 外来 |
|-------|-------|--------|----------|------------|
| 2020年 | 614万人 | 20人に1人 | 28万人(5%) | 586万人(95%) |
| 2017年 | 419万人 | 30人に1人 | 30万人(7%) | 389万人(93%) |
| 2014年 | 392万人 | 32人に1人 | 31万人(8%) | 361万人(92%) |

≪ 医療の実態と国の精神医療政策は正反対 ≫

わが国の精神医療政策は今日まで72年間、精神科病院への入院中心の精神医療です。お金も人も、精神科病院に集中的に使用しています。他方、地域で当事者を支える“地域

次ページに続きます

ケア”のお金は数%です。医療実態は外来医療が主流ですが精神医療政策は入院中心。医療実態と政策が正反対です。この時代後れの入院中心の精神医療政策がわが国の精神医療が抱えている問題の根源です。この面から見ても、政策転換が避けられない事態です。

◆ 2022年11月の病床利用率 ⇒ 全国平均81.2% ◆

< 47都道府県別の病床利用率 > 出典：「病院報告」2023年11月

| 病床利用率 | 都道府県の数 | | 都道府県の実態 |
|-------|-----------------|---------------|---|
| 90%台 | 0 | | |
| 80%台 | 26都道府県 (55%) | 後半6(23%) | 群馬88.1% 富山88.0% 岐阜87.8% 広島85.3% 山口85.4% 香川86.4% |
| | | 前半20 (77%) | 北海道81.0% 秋田84.4% 山形83.9% 埼玉83.9% 東京82.9% 神奈川80.7% 新潟84.1% 石川83.3% 愛知84.5% 三重82.0% 大阪80.5% 奈良80.0% 徳島83.2% 福岡83.6% 佐賀84.7% 熊本81.9% 大分84.4% 宮崎84.6% 鹿児島84.7% 沖縄82.3% |
| 70%台 | 19府県 (40%) | 後半17 (89%) | 青森79.2% 宮城78.8% 栃木78.5% 千葉78.4% 福井78.0% 山梨78.6% 長野78.9% 静岡79.6% 滋賀77.0% 京都75.3% 兵庫78.9% 鳥取78.5% 島根79.4% 岡山75.1% 愛媛76.2% 高知79.9% 長崎79.2% |
| | | 前半2(11%) | 岩手73.7% 茨城74.8% |
| 60%台 | 2県(4%) | 後半2(11%) | 福島68.9% 和歌山69.2% |

○90%台（「青信号」「黄色信号」）の都道府県消失。47都道府県「赤信号」に突入

○80%台の内後半は6県（23%）、前半は20県（77%）

○全国病床利用率 2021年12月 82.9% ⇒ 2022年11月 81.2%（-1.7%）

< 国民医療費 16年間の推移 > 出典：「国民医療費」

○グループホームや就労施設の設置費や運営費などの福祉費は年間500億円程度です。

○2004年以降、入院患者数の減少に伴い、精神科入院医療費の累計削減総額は1兆5,820億円（厚生労働省出典「国民医療費」）です。これは福祉費の実に32倍に相当します。

○同様に、2020年度の精神科入院医療費は1兆3,259億円で対前年比1,600億円減少しています。これは福祉費の3.2倍に相当します。

氏家憲章氏は、国・地方自治体が精神障害者の地域生活を担保する財源を「福祉費」に切り替える ⇒ 大胆な政策転換が喫緊の課題であると述べています。前号の名家連ニュースに連載した日本弁護士連合会の「決議」と「提案理由」を併せてご一読ください

氏家氏の資料の要約編集責任：名家連事務局 堀場洋二